

H30年度サミット in 山形

村山地区開催 報告



H27年度より地区回り開催がはじまり、今年度は4年目で村山地区（東根市民体育館）にて開催されました。前日からの大雨の影響で、参加も大変だったと思いますが、117人の参加者で今年度のサミット in 山形を開催することができました。

午前は、「地域課題を解決するための総合型クラブの経営の原理原則～地域を舞台に私たちに何ができるか～」という演題で、一般社団法人地域スポーツシステム研究所所長の榎敏弘氏（石川県）より講演をいただきました。午後は、「健康づくり」「だれでもいっしょにできるスポーツ（カローリング）」「パラリンピック種目（ゴールボール）」の3つの分科会に分かれての研修を行いました。研修会の内容をこれからのクラブ運営において、役立てていただければ幸いです。

講師等お引き受けいただきました皆様、会場となりました東根市民体育館関係者の皆様、そして、計画・準備・当日の業務等ご苦労いただきました村山地区協議会の皆様、ありがとうございました。

◆ 基調講演

ずっと同じようなことをしてはダメ。やりたいことをどんどんやってみる勇気もらいました。(参加者より)



NPOの話はとても参考になりました。非営利収益で悩んでいるクラブマネージャーがいるので、今日の話伝えたいと思います。(参加者より)

総合型クラブの課題を共有できる内容でした。(参加者より)

◆ 分科会

第1分科会

「健康づくり」



健康づくりは行政とのタイアップが重要ですので、指導者も含めて事業を展開して介護予防に努めていきたいと考えております。(参加者より)

第2分科会

「カローリング」



いろいろな地域の方と交流ができる種目だと感じました。用具の収納も丁寧でとても大事にしていることがわかりました。(参加者より)

第3分科会

「ゴールボール」



クラブの事業として取り入れるのは難しいと思いますが、五感を働かせることや体幹トレーニングなど参考にできたらと思います。(参加者より)